

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：保育園 ばんびーな	種別：認可保育所
代表者氏名：中山 友香子	定員（利用人数）：45名（利用者45名）
所在地：〒231-0868 横浜市中区石川町4-158-1 ベイシティメゾン石川町	
TEL：045-212-2290	
ホームページ：https://www.hibambina.jp/bambina	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成18年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ばんびーな	
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員： 3名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：13名 調理師：1名
	栄養士：1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：2室 トイレ：2ヶ所 調理室：1室 事務室：1室
	（設備等）園庭：有

③理念・基本方針

【運営方針】

こどもを通してつながり合い、みんながともに育ち合える園

【保育理念】

- ・ありのままを愛する保育
- ・生きる力を身につける保育
- ・一瞬、一瞬を大切に作る保育・生きる力を身につける保育

④施設・事業所の特徴的な取組

- 給食にこだわり、手作りが基本。無農薬・有機野菜を中心に旬の物を取り入れ、季節にあった献立メニューで心身ともに健康に育まれるよう願っている。おやつも市販のものではなく毎日調理室で手作りをしている。
- 午前の保育内容は外遊びが中心です。園庭や近くの公園まで散歩し、交通ルールを学んだり、安全に気をつけながら楽しく身体を動かし強い身体作りを支えている。
- リズム遊び、絵画、制作を行う[表現活動]の時間を設けている。
ひとり一人の好きなこと、可能性を引き出せるような取り組みを行っている。
- 「ばんび農園」畑活動があります。野菜の世話をしたり収穫を楽しんだりするだけでなく、畑には 虫や草花・木の実との出会いがあり、土を触っているだけでも五感が刺

激される。時には保護者にも参加していただき保育園と家庭とのつながりの場になることをねらいとしている。

●就学前プログラム「サークル」活動。主に年長児クラスで行い、年長組だけの時間を設けている。はじめは自分の意見を皆の前で相手に伝えること、そして、相手の話を聞くことから「サークル」はスタートします。中区内の保育園との交流会や小学校との交流会にも積極的に参加していて、就学に向けた連携も大切にしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年9月10日（契約日） ～ 令和4年4月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2018年度 ）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)他人の気持ちを考えられる子どもに育んでいます

園は、1、2歳児、3～5歳児の異年齢のクラスで活動しています。子どもたちは違う年齢のお友だちの様子から自分でもやってみたいという意欲が育まれているようです。年度によって各クラスの特徴はかなりちがいますので、年下の子どもが出来る事をみて、年上の子どもが頑張る事もあります。自分とは違う考え方がある事や、出来る事や、出来ない事があることを自然に子どもたちは経験しています。子ども自身が、自分はどうしたいかという主体性を持てるように職員は支援しています。

2)職員の共通理解で子どもに応じた保育を実践しています

オンラインの研修では受講内容について質問して、職員個々の考えや取り組み方についてグループワーク進めるティチャーズトレーニングを実施しています。他の職員の考え方等を知ること、多角的に一つの事例に対して取り組む方法の共通理解とともに、職員の保育の質のスキルアップに繋がっています。園では職員が保育に対して様々な角度からアプローチできるように取り組んでいます。

3)卒園後も子どもたちとの関わりを大切にしています

保育者は人生の基盤となる乳幼児期を知る立場から、卒園後も相談してほしい旨の説明をして、保護者の安心を確保しています。実際に卒園児が運動会などの行事に参加するほか、卒園後も関わりを大切にしたい取組を行っています。園が、保護者はもとより、卒園した子どもたちの心の拠り所となれるよう努めています。

◇改善を求められる点

1)保護者が意見を言いやすい雰囲気作り

保護者支援では相手の行動を待つのではなく、職員側から積極的に声かけし、傾聴を大切にしています。連絡用アプリケーションを通じて双方向の情報交換も行っていますが、保護者からは意見を言いやすい環境とはとらえられていません。コロナ感染予防で行事等は中止、マスクで表情が読みづらいなど保護者との関係は希薄になりがちです。まずは保護者とのコミュニケーションにより信頼関係構築に取り組まれることが期待されます。

2)マニュアルの整備、確認

各マニュアルは、PC内に置かれ、職員は携帯など端末から内容を確認する事ができます。

園では、実習生やボランティア受け入れのマニュアル整備が無いとされていますが、法人では受け入れ体制があります。職員の社内異動なども考慮し、全園にすべてのマニュアル整備を進めることは大切です。現在園にあるマニュアル、法人が定めたマニュアルの有無など、一覧を作りマニュアルの整備、確認をすることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審させて頂き、運営や保育内容に関して振り返り、現状や具体的な課題が見つかるよい機会となりましたことに感謝申し上げます。職員全員で日頃の保育を振り返り、現在の保育の良い点、改善点が見いだされ、今後の保育の見直しと目標を再確認できました。

引き続き評価に基づいた話し合いや学び合いの時間を作り、継続的な保育の質の向上に向けた取り組みを行ってまいります。コロナ禍ということもありましたが、今後も、地域との交流を深め、一人一人の子どもたちの心に寄り添い、子どもの育ちを保護者の方々と共有しながら取り組んで参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり